

預貯金が実質的に目減りする時代に

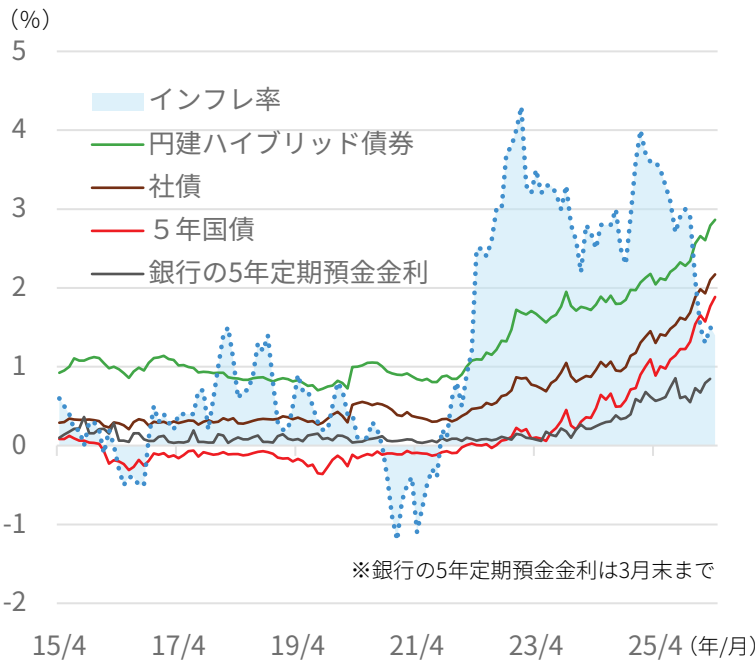
日本はインフレのない時代からインフレのある時代に

- 色々な物・サービスの価格が上がっています。実際、2020年末から2026年4月末までのインフレ率（物価上昇率）は13.8%（年率で2.5%）でした。
- ただし、同じ期間中、「米」は約50%、「肉」は約24%、「野菜」は約36%、「お菓子」は約40%、「飲料」は約36%、「ティッシュペーパー」は約31%、「洗剤」は約61%と、生活者にとって身近な商品はそれ以上に上昇しています。

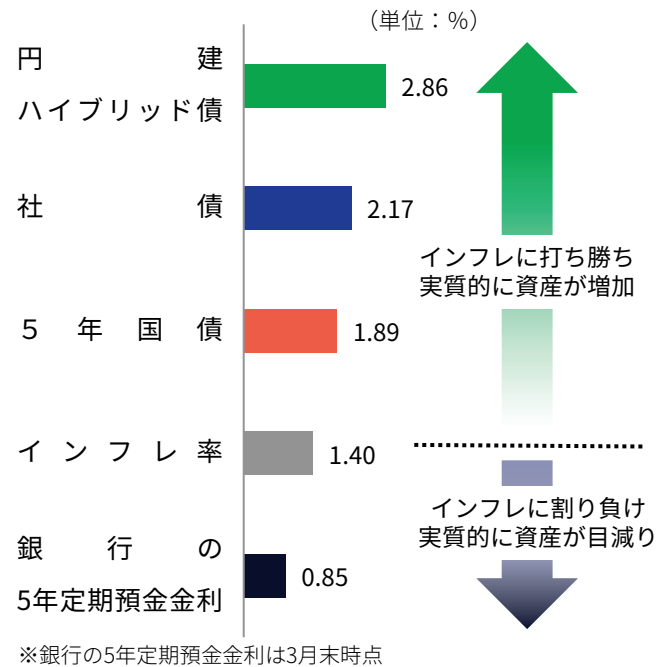
インフレのある時代では預貯金を実質的に目減りする

- インフレのある時代では、インフレ率よりも金利の低い預貯金は実質的な価値が目減りします。
- インフレのない時代が長く続いたことから、漫然と預貯金にお金を寝かせている方も多いと思いますが、早急に対策を講じるべき状況となっているとみられます。

インフレ率、定期預金金利、債券利回りの推移
(2015年4月末～2026年4月末、月次)



インフレ率、定期預金金利・債券利回りの水準
(2026年4月末時点)



*文中のインフレ率および各商品の上昇率は、季節調整前の消費者物価指数および各商品の価格指数から算出。
 ※グラフ中のインフレ率は消費者物価指数の前年同月比伸び率、円建ハイブリッド債券は償還予定日（次回繰上償還可能日または満期日）までの残存年数が1年以上の円建ハイブリッド債券の全銘柄のうち、取得可能なデータを時価加重平均して算出、社債はブルームバーグ・アジア・パシフィック日本社債指数の最低利回り、銀行の5年定期預金金利は預入5年以上6年未満・預入額1,000万円以上の定期預金金利の平均値。
 出所：日本銀行、ブルームバーグのデータをもとにマニユライフ・インベストメント・マネジメント株式会社が作成
 ※上記は過去の実績であり、将来の市場環境等を示唆あるいは保証するものではありません。

ご留意いただきたい事項

- 本資料は、マニユライフ・インベストメント・マネジメント株式会社（以下「当社」といいます。）が作成した情報提供資料です。
- 当社が特定の有価証券等の取得勧誘または売買推奨を行うものではありません。
- 本資料は、信頼できると判断した情報に基づいておりますが、当社がその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料の記載内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更される場合があります。
- 本資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。
- 本資料の一部または全部について当社の事前許可なく転用・複製その他一切の行為を行うことを禁止させていただきます。

マニユライフ・インベストメント・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第433号

加入協会：一般社団法人資産運用業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会